



## 子どもへの2種類の褒め方

実りの秋となり、様々な食べ物が収穫時期を迎えています。私も先日、自分の子どもたちと収穫体験のできるレジャー施設に行き、さつまいもの収穫をしました。土の上からではどんな大きさのさつまいもがどれほど出てくるのか全く想像つかず、掘り当てたさつまいもの大きさや数に、思わず童心に返り一喜一憂してしまいました。周りで体験していた人からも「このさつまいもは大きいね。やったあ。」「これはいい株に当たったね。」などの声が聞こえてきました。これは、収穫したさつまいもの大きさや数という結果を見て感想を述べているわけですが、では、もしこれがさつまいもではなく、日常のお子さんとの会話だったらどうでしょうか。

「子どもは、褒めて育てるとよい」ということは、すでに通説となっているように思えますが、子どもがテストで百点をとって帰ってきたとき、徒競走で1等だったとき、お子さんにどのような言葉をかけますか。「百点だったの。よくがんばったね。」「徒競走、1等だったね。すごい。」という褒め方を、私もよく自分の子どもにしてしまいます。これは一見、適切な褒め方のように思えますが、その裏には「百点だったから」「1等だったから」褒めるという結果主義が見えます。そうやって褒められてきた子は「百点でなければ(1等でなければ)嬉しくない」というこだわりが強くなり、そこに至る過程を楽しめなくなる可能性があるということを、以前あるカウンセラーさんから教わりました。前述したさつまいもも、日光の当たり具合や土、肥料のあげ方など、育った過程はおそらくどれもほとんど大差ないと思いますが、隣同士でさえも実のでき方が全く異なっていました。それと一緒に、子どもも同じような努力をしても全員が同じような結果になるとは限りません。その結果が満足のものであってもなくても、そこに至るまでの過程を十分に認め、褒めてあげることが大切です。特に結果が良かった時などは、ついその結果ばかりを褒めてしまいがちになりますが、そういう時にこそ、そこに至るまでの過程を認めることを大事にしていきたいです。

子どもの褒め方には2種類あるということも、そのカウンセラーさんから教わりました。一つは、前述したような、子どもの行動を褒めることです。つまり、子どもがやり遂げたこと、努力したことを認めることです。もう一つは、子どもの存在そのものを褒めることです。これは、特に何かをしなくても褒められる、文字通り存在するだけで褒められるというものです。

どちらもとても大切ですが、ご家庭で特に大切にしていきたいのは、後者です。なぜなら、「あなたがいてくれるだけで嬉しい」ということを伝えられるのは、家族の他にあまりいないからです。けれど、「存在そのものを認める」ことは、頭の中では思っただけでも、日常ではあまり子どもに伝えていないのではないのでしょうか。子どもは誰かに「存在そのものを認められている」と思えるだけで、長所も短所も合わせもった自分を「価値ある人間だ」という自己肯定感を育てることができます。自己肯定感をもてた子は、他者の違いを理解し、認め、他者を思いやることもできます。成功や優劣に関係なく、「ただそこにいるだけで十分だ」という温かいメッセージを、私も一人の親としてこれからも大切に伝えていきたいと思っています。

(児童支援専任 佐藤 妙恵)



### ◆ 11月の目標 ◆

- 【生活】外で元気よく遊ぼう
- 【保健】できるだけ薄着ですごそう
- 【給食】食品のはたらきを知ろう



### 「読書の秋」です！

11月5日～22日は白根小の読書週間です。今年度は、図書委員会が「読書ビンゴ」を企画しています。図書室で本を借りて読むとスタンプがもらえ、ビンゴをすると「読書の木」に葉っぱが増えていきます。全校でたくさん本を読み、「読書の木」と豊かな心を大きく広げていきたいです。



# 学習のあしあと



## 5組

### ブロック交流会に出かけました

三浦宿泊学習の夕べの集いの練習にバスによって都岡小学校へ行きました。「みうらにいこう」「WAになっておどろろ」「にんげんっていいな」をみんなで大きな声で歌いました。他の学校の子とも交わり、じゃんけん列車をした場面がとっても盛り上がりました。また、高学年が中心となって一生懸命バスレクのプログラムを作ったり、しおりには一日の見通しを持てるように、スケジュールを記入したりするなどして、楽しみながら準備をしています。



## 1年生



### 大きなあまあいだいこんになあれ

生活科で今度は大根を育てることになり、種まきをしました。大根の種を見て、「こんなに小さいんだ！」とアサガオとの違いに驚いていました。芽が出て、順調に大きくなっています。でも、「まだ大根にはなってないね。」「どうやって大根になっていくのかな。」今後の成長に興味津々！少しずつ大きくなる大根を、みんなで見守っていきます。いつか給食に出してもらえる日を夢見て、大きなあまあいだいこんになあれ！

## 2年生

### ズーラシアへ行ってきました！

国語の「どうぶつ園のじゅうい」の学習のまとめとして、ズーラシアに出かけて、ズーラシアの獣医さんの実際の仕事の様子について、教えていただきました。

仕事の様子をスライドで見たり、説明を聞いたりして、動物の健康診断やけがの治療のやり方などを詳しく知ることができました。ズーラシアへは徒歩で出かけましたが、子どもたちが上手に歩いていたことにも成長を感じました。



## 3年生

### HERO実行委員が決まりました！

3年生になって約半年。あと半年で白根小学校のお兄さん、お姉さん側の立場になる子どもたち。あと半年の活動ができるだけ子どもたちが主体的に活動できるよう、実行委員を立ち上げました。学年掲示、音楽朝会、ローゼン見学、子どものアトリエ、社会科見学、民家園見学、学年集会、ありがとうの会、たくさんある実行委員のどれかに所属しました。10月の学年掲示実行委員のみんなで協力し、だれがどこの実行委員に入ったかまとめました。今後それぞれの実行委員でどのような活躍をしていくのか楽しみです。



## 4年生



### 社会科見学へ行ってきました！

16日に社会科見学へ行きました。まずは横浜ランドマークタワー「スカイガーデン」です。地上69階から、吉田新田のあった場所を実際に確認することができました。「ここが昔は田んぼだったんだ」と驚きの表情が見られました。

続いて横浜市民防災センターに行きました。音響や映像で演出される地震・火災などの災害を体験し、「自分の身は自分で守ること」「みんなで助け合う」ことの大切さを学ぶことができました。

## 5年生

### 家庭科でミシンの学習が始まりました！

5年生の家庭科の学習では、マイエプロン作りに取り組んでいます。型紙を切るところから始まり、エプロンの完成までは長い道のりです。

初めてミシンの使い方を学び、糸のセットやミシンを使って縫う作業に頑張っており取り組んでいます。苦勞しながらも楽しみながら学習に取り組み、エプロンの完成に近づいています。どんなエプロンが出来上がるかとても楽しみです！



## 6年生



テニス部

社会科  
授業



### 中学校生活を覗いてきました！！

11日の5・6時間目に、児童生徒交流として、自分の学区の中学校に行き、部活動や授業の体験をしました。普段生活している学校とは異なる場に初めは緊張していましたが、中学生や先生に優しく教えてもらい、楽しんで活動に参加していました。「早く中学校に行きたい！」と期待を膨らませていました！

小学校生活も残り半年を切りました。中学校への準備をしながら、残りの時間を大切にしていきたいと思います！

## 学校事務室より

### 子どもたちの成長を陰から支えています

私たち学校事務職員は主に環境整備に携わっていますが、飼育動物の手配も仕事の一つです。

夏休み前、学校で飼育していたうさぎのシュークリームが亡くなりました。このうさぎは、6年前に学校にやってきて、飼育委員会を始めとする白根小学校の子どもたちにとっても愛されてきました。うさぎが亡くなったことで悲しい思いをしている子どもたくさんいると思います。

しかし、縁あってこの学校に来てくれたシュークリームは、子どもたちの優しい気持ちを育ててくれました。先日の追悼集会では涙を流している子どもおり、子どもたちの「こころ」が育ってくれていることにとても感動しました。事務職員は勉強を教えるわけではありませんが、子どもたちの情操教育の面で微力ながらも力になればと思っています。今後の飼育に関しては、飼育環境のことも考え、子どもたちと職員とよく話し合っ